

名取頭首工維持



8班

A1TB5014 大友裕隆
A1TB5041 佐藤聡一郎
A1TB5069 名尾孝樹

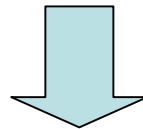
A1TB5091 三浦尚之
A1TB5095 水野谷勇輝

名取頭首工の歴史について

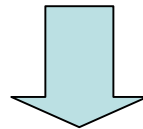
元は...六郷堰(昭和23年完成)

目的:水田の灌漑のため

治水のための設備ではない



工業・上水道用水としての共同利用計画
施設の老朽化から改築



昭和60年～ 現在の名取頭首工

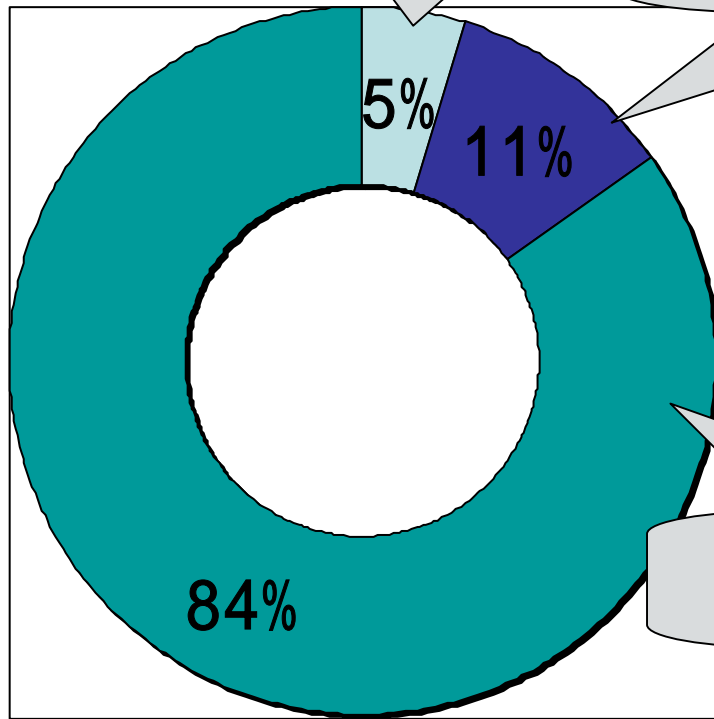
頭首工の概要



頭首工取水の内訳

上水道 $0.509\text{m}^3/\text{s}$

工業用水 $1.157\text{m}^3/\text{s}$



農業用水 $9.291\text{m}^3/\text{s}$

名取川農業水利事業所発行パンフレットより

名取頭首工

左岸：68.7ha

広瀬川との合流点
河口から6km

河口から
12.2km

右岸：2,945.0ha

10km

10km



環境面のパフォーマンス



環境面のパフォーマンス



階段式魚梯型

幅2m 長さ70m

$I = 1 / 20$

両岸に1つずつ

環境面のパフォーマンス



コンピューター制御で流量を管理
一定の水位を確保するよう調整

名取頭首工維持について

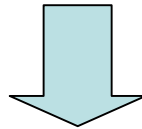
～コスト面～

完成が昭和60年(1985)

- ・ 築後19年でまだ比較的新しい施設
メンテナンスはゲート部のペンキ塗り替えくらい

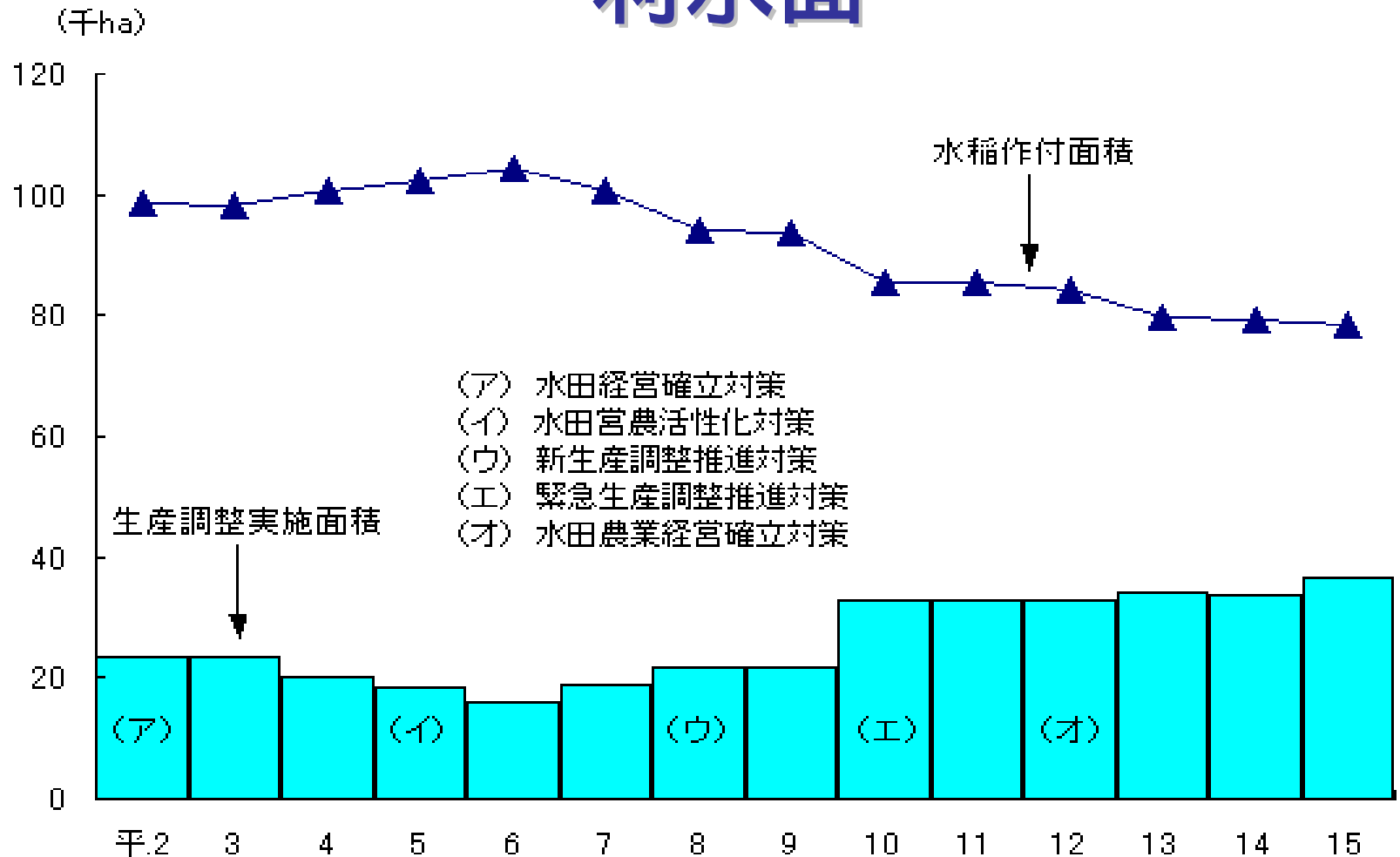
コンピューター制御

- ・ 通常職員は交代で1～2人が管理事務所に
来ているだけ



頭首工の維持にあまり費用はかからない

名取頭首工維持について ～ 利水面 ～

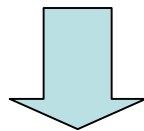


水稲作付面積と県の生産調整面積 (東北農政局統計)

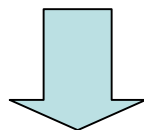
名取頭首工維持について

～まとめ～

頭首工での取水量はある程度減少していくと予測することができる



水環境への影響も軽減されていく
農地はゼロにはならず農業用水は必要
工業用水や上水としては安定して取水する必要



名取頭首工は維持していかなければならない